

食卓で使う今月の作物

アスパラガス

asparagus

アスパラガスは、収穫までに通常2年以上かかりますが、上手に作ると7〜10年収穫が楽しめます。畑に余裕があれば、ぜひチャレンジしたい野菜です。

栽培のポイント

- ① 植え付け場所をよく吟味しましょう
生長すると背丈が高くなるので、植え付けは他の野菜が日陰にならない場所を選びます。排水が良く、耕土の深い畑が最適です。
- ② 病害対策をしましょう
比較的涼しい気候を好むので、高温、多湿条件では茎枯れ病が出やすくなります。登録のある農薬はダコニール1000、ベンレート水和剤などです。
- ③ 風対策をしましょう
風で倒れやすいので、株の両脇に支柱を立て、ひもなどを使って支えます。収穫後に出る細い茎は、風通しを悪くするので地際から切り取ります。

品種例

ウエルカム、スーパーウエルカム、ゼンユウガリバー

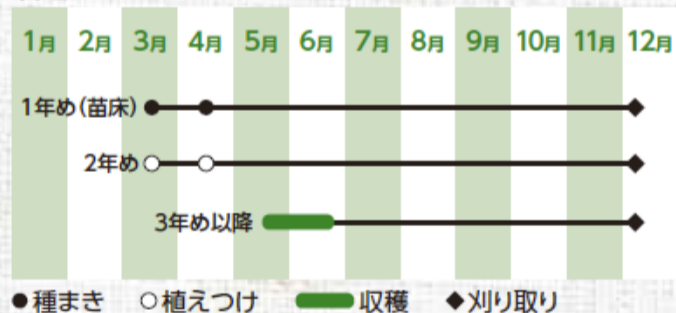


栽培期間は長いですが、その分初収穫の喜びはひとしおでしょう。姿も美しい野菜です。



姫路東部営農生活センター
営農指導員
岡本 忠明

栽培カレンダー



いまさら聞けない農作業のコツ!

よい堆肥の見分け方

堆肥は、ワラや落ち葉など植物性の有機物や、家畜のふん尿など動物性の有機物を積みあげて発酵させた土壌改良資材です。

● 堆肥のよい点

細かい土の粒子を接着して、隙間のある土の塊(団粒構造)を作ること、土の通気性・水もち・肥料もちを良くします。

● 堆肥の注意点

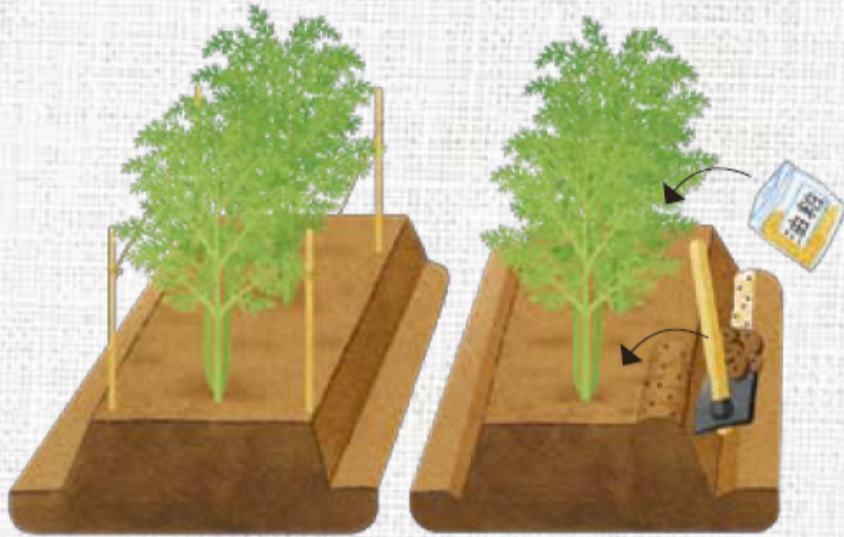
未熟なものを使うと、有機物の急激な分解による障害(根痛み・窒素不足など)が起きます。また、発酵時の温度が十分でないと、雑草種子が生きたまま堆肥に含まれることがあります。

● 良質の完熟堆肥の見分け方

- ① 完熟した堆肥は、排泄物臭やアンモニア臭がしません。
- ② 材料(糞尿や稲ワラなど)そのものの色ではなく、黒褐色または黒色に変化しています。
- ③ 発酵過程の堆肥は、水分が多くてべとべとしていますが、完熟した堆肥はわずかに水分を含んださらさらの状態です。

4 春・夏の管理

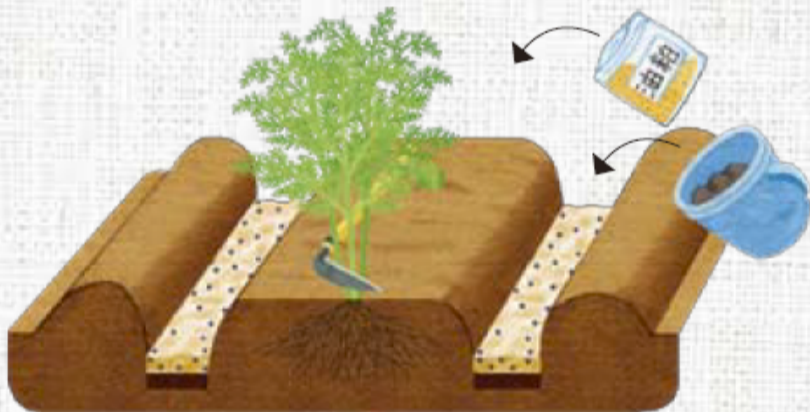
- 両脇に支柱を立て、ポリテープを張り茎が倒れないようにする。
- 5月から1カ月に1回、計3～4回畝のわきに追肥し、土寄せする。



1株当たり油粕大さじ3杯

5 冬の管理

- 茎葉を刈り取り、病原菌の越冬場所にならないよう集めて焼却する。
- 1株当たり、バケツ1/2杯の堆肥、油粕1握りを追肥する。



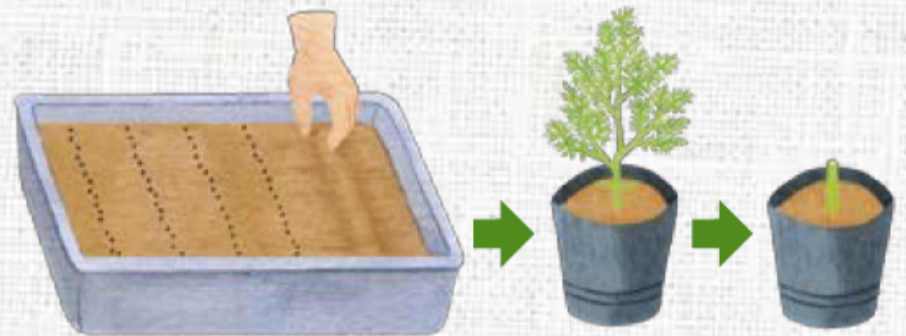
6 収穫

- 植え付け2年後から伸びてきた芽を地ぎわから刈り取り収穫する。
- 強い芽が出ている間に収穫を打ち切り、残った芽を生長させ、株に来年の養分を蓄積させる。
- 夏～冬は④⑤の管理と収穫を続ける。7～8年たち、株が疲れてきたら新しく植え替える。



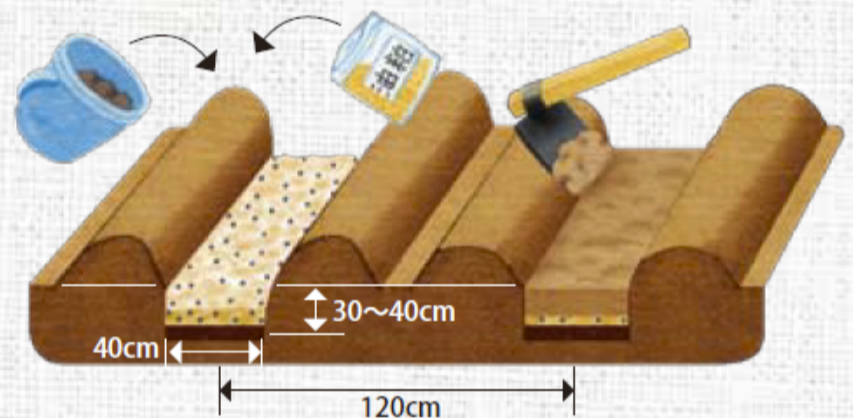
1 苗づくり

- まく前に種を風呂などのぬるま湯に一昼夜つける。
- 本数が少ない場合、育苗箱に種を条まきにし、込み合わないよう順次間引く。
- 本葉3～4枚のころ4号ポリ鉢に上げる。
- 冬に入り、茎葉が枯れてきたら地上部は切り離す。



2 元肥入れ

- 溝の長さ1m当たり、油粕大さじ7～8杯、堆肥7～8握りを施し、10cmくらい土を埋め戻す。



3 苗の掘り取り・植え付け

- 根株を取り出して植え付ける。5～6cmの厚さに覆土する。

